



# 営農ウィークリーNEWS

## 環境にやさしいナス栽培に向けてソルゴー種子配布

4月18日、環境にやさしいナス栽培に向けて西南部経済センターでソルゴー種子の配布準備を実施しました。

ソルゴー種子は、地域特産物であるナスのバンカープランツとして2017年に作付するものです。

管内の「夏秋ナス」は、府内でも有数の産地として、古くから知られており、京都市場における夏期から秋期の主要品目として高く評価されています。

ソルゴー障壁栽培は、1999年より京都乙訓農業改良普及センターが安全・安心と環境にやさしい農業の普及を目指して推奨し、導入した栽培方法です。



ナス圃場の周囲に栽培したソルゴーで天敵が増殖し、アブラムシ類など害虫の密度を抑制できる方法です。同方法により農薬散布回数が減らせるほか、風による傷果の発生も防止できるなど京都乙訓地域をはじめ、京都市内でも普及している栽培方法です。



ソルゴー障壁栽培

### —TAC information—

**注意!** ミナミアオカメムシ活動開始を確認!!



4月21日、向島管内の西洋カラシナが自生するところで、ミナミアオカメムシを確認しました。

今年2月に行った越冬調査でも、多数越冬していることを確認しております。

これから、ナスや水稻などで被害が大きくなる可能性がありますので、こまめに栽培作物での発生を確認し、発見した場合は登録農薬で防除をお願い致します。